

# 大学職員の可能性

—大学改革を牽引する職員を目指して—

日時 2016年11月25日（金）～26日（土）（1泊2日）

会場 大学セミナーハウス（東京都八王子市下柚木1987-1）



近年の教育改革の流れ、特に高等教育に関わる改革・改善の流れは急速になっています。本年3月31日に出された「高大接続システム改革会議」最終報告に代表されるように、大学が自らの価値を明確にし、社会や産業界との接続とともに、高等学校をはじめとした中等教育と大学教育の接続を明確にしなければならなくなっています。大学入試改革ばかりが注目されがちですが、3つのポリシーの策定・公表の義務化などは、まさに大学教育そのものを自らが見直すことを求められたものでしょう。また、様々な答申や議論でSDの重要さが謳われてきましたが、今般の大学設置基準の改正で、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るためのSDが義務化されました。

こうした急速な流れの中で、私たち大学職員はどのように働いていけばよいのでしょうか。7月の特別講演会では筑波大学の吉武博通教授に「大学職員に期待されるもの」と題して講演いただきます。今回のセミナーでは大学改革を実践する立場から、大学改革の可能性、改革の考え方、そこでの教員と職員の関わりはどうあるべきかを実践されている講師をお招きして、参加者の皆さんと一緒に考えていきたいと思ます。

1日目の基調講演は、地方の小規模大学ながらGGJ、AP、COC、COC+に採択されるなど、教職協働で地学（地域・大学）一体の大学改革、教育改革が注目されている共愛学園前橋国際大学の後藤さゆり副学長にご講演いただきます。後藤副学長は、大森昭生学長とともに大学改革を推進してこられた方です。地方・小規模大学の可能性、教職協働のあり方など、私たち大学職員に多くの示唆をいただけるものと思ます。

2日目は、関西国際大学事務局長の横田利久氏にご講演いただきます。横田氏は長らく中央大学職員として活躍され、大学行政管理学会の会長を務めるなど、私たち大学職員をリードしてきた方です。2014年4月からは関西国際大学事務局長に就任され、濱名篤学長とともに同大学のさらなる発展に尽力されています。大学職員の大先輩である横田氏から私たち後輩に熱いメッセージをいただきます。

今回のセミナーでも、本大学職員セミナーの特色である地方バーチャル大学を題材にしたワークショップを行う予定です。全国の国公立大学の職員が一堂に集まって活発な議論が行われることを期待しています。

## ■基調講演

### 地方小規模をメリットにする教育改革

—教職協働・地学（地域・大学）一体のKYOAI GLOBAL PROJECT—

共愛学園前橋国際大学副学長 後藤さゆり氏

共愛学園前橋国際大学は群馬県にある小規模大学ですが、今年度の志願者数は過去最高となりました。現在は、文科省補助金4事業を有機的に展開し、地域・教職員・学生が一体となってKYOAI GLOBAL PROJECTに取り組んでいます。講演では本学が取り組む教育プログラムと、その背景にある大学改革についてお話させていただきます。

## ■講演

### 改革推進の担い手となる中堅・若手職員に向けて

—私が気づき 学んだこと 伝えたいこと—

関西国際大学事務局長 横田利久氏

大学ほど素晴らしい共同体はない。しかし、そこでプロの職業人として、学び成長し成果を挙げ続けようとするれば、大学職員ほど難しい役割・仕事はない。その意味では大学は民間企業よりも厳しい職場である、というのが私の長い職員生活の実感です。

とはいえ、難しいからこそ面白くてやり甲斐がある職員。「使命感と当事者意識と心意気が、人と組織を動かす」「職員の役割・仕事に限界はない」のです。私自身の悪戦苦闘の仕事体験から気づき自分に刻み込まれたそのことを、具体例でお話させていただくことによって、中堅・若手職員の方々の励ましになればと思います。

主催：公益財団法人 大学セミナーハウス

協賛：公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩

## セミナーの目的

グループディスカッションでの議論・発表を中心に、事例報告・講演や情報交換会を通して、以下を実現することを目的とします。

- \*大学の抱えている課題の検討を通して職員の役割を考える。
- \*課題解決能力とプレゼンテーション力を涵養する。
- \*ヒューマンネットワークを構築する。
- \*他大学の取り組みや大学を取り巻く環境の最新情報を得る。

## 参加にあたって

- \*参加者全員に事前レポート（A4・1枚程度）を提出していただきます。詳細は別途ご連絡します。
- \*「グループディスカッション」では、各参加者の事前レポートの発表ののち、同一テーマの下に企画・立案を含むディスカッションをしていただきます。
- \*「総括討論・発表」は、グループディスカッションの報告を踏まえた討論・発表を行います。

## 応募要領

定員 : 40名(先着順)

参加対象 : これからの大学を担う若手・中堅、また熱意ある職員(教員を含む)

参加費 : 25,000円

(大学セミナーハウス協力会員・12,500円、ネットワーク多摩会員・22,000円)

\*参加費には宿泊・食事・資料代、消費税を含みます。

申込方法 : ホームページの申込みフォームよりお申込みください。

申込締切 : 2016年10月31日(月)

お問合せ先 : 公益財団法人大学セミナーハウス/セミナー・グループ

TEL. 042-676-8532/FAX. 042-682-2601

E-mail seminar-g@seminarhouse.or.jp

URL <https://iush.jp>

## 企画委員

高崎経済大学研究グループ研究支援チーム

明治大学社会連携事務室事務長

中央大学入学センター入学企画課課長

(委員長)法政大学学務部長

桜美林大学大学院・大学アドミニストレーション研究科教授

青木 加奈子

岩崎 宏政

大久保 陽造

近藤 清之

山本 真一

## プログラム概要

### ■第1日 11月25日(金)

12:30 開会

13:00 参加者自己紹介

13:50 【基調講演】  
後藤さゆり氏

15:20 【事前レポート発表・意見交換】

16:20 【グループディスカッション1】

19:00 【グループディスカッション2】

20:30 グループ中間報告

21:00 【情報交換会】

### ■第2日 11月26日(土)

9:00 【グループディスカッション3】

10:50 【総括討論】  
グループディスカッションの  
成果報告と討論

13:10 【講演】  
横田利久氏

15:20 閉会

※プログラムは都合により変更する場合があります。



## 参加者の声

- ・面白い意見をたくさん聞け、自分の中の知識の貯金を殖やすことができました。
- ・職員になって間もないのですが、大学で自分は何ができて、何に貢献できるかということを考えていました。様々な方の意見やお話を聞き、課題を通してヒントが得られました。職場に戻ってこの研修で得たものを活かしていけたらと思います。
- ・1泊2日の短時間ではありましたが、密度の濃い充実した学びを体感することができました。
- ・大学職員としてのプロ意識をもって取り組むことが大切と実感した。

## 交通案内

●東京駅より約1時間30分、羽田空港より約2時間

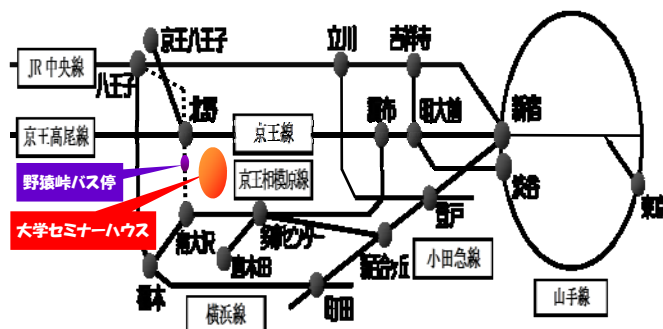
●最寄駅

JR八王子駅

京王線北野駅

京王相模原線南大沢駅

各駅よりバス→約15分  
(野猿峠バス停下車徒歩5分)  
各駅よりタクシー→約10分



\*詳しくはホームページの〈交通案内〉をご覧ください。